



東本郷

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい 東本郷小

学校だより

令和3年7月1日発行
川口市立東本郷小学校
TEL: 284-8076

早くも1学期のまとめの時期になりました

校長 朝倉 伸行

ここにきて、気温もぐっと上がり、学校ファームの野菜もすくすく育っています。先日は、3年生の児童がさなぎから羽化したチョウを見せにきてくれました。1・2年生の児童も自分のアサガオや野菜のお世話に精を出しています。夏の季節に近づき、生き物の成長や活動が盛んになり、そのかわりの中で、児童は様々な発見や体験をしている様子がうかがえます。

先月は、コロナ禍ではありますが運動会を実施し、子供たちの学習成果や頑張る姿を保護者の方々に参観いただきました。当日は、PTAの方々に来校者の方の検温等をお手伝いいただき、たいへんお世話になりました。たくさんの方々のご協力のもと、無事運動会を終えることができ、その後のコロナウイルスの感染報告もなく、継続して教育活動を続けることができていることに感謝申し上げます。また、先日は全校を挙げて『新体力テスト』を実施しました。今後フィードバックされる結果につきましては、体力の状況把握と、児童の長所を伸ばし、短所を補うための目標設定に生かし、自ら進んで運動する児童の育成につなげていきます。本校では、体育の授業の充実と毎週1回『のびのびタイム』として、朝の時間を使った体育的活動に取り組み、児童の体力向上にこつこつと取り組んでいます。ぜひ、ご家庭でも運動の機会を増やすなど児童の体力向上に向けてご支援をお願いいたします。

さて、1学期も残すところあと一月となり、まとめの時期となりました。1学期の児童の成長については通知表でお伝えしますが、学校では児童が『確かな学力』を身に付け、『豊かな心』と『健やかな体』を育成するため、評価を通して一人一人の学習や生活の状況を把握し、個に応じた指導を行っています。また、評価を指導に生かすことで、子供の長所や可能性を引き出し、やる気を起こさせるようにしています。それが、評価の大切な意味と考えています。

学校でも家庭でも、子供の課題が目につき指導や注意の方が先になってしまいがちですが、それを抑えて、私たち大人が子供一人一人の長所を生かし、自分を価値ある存在として認められるよう、次の視点をもって接することが大切と考えます。

長所を見つけたときは、「〇〇が上手になったね。」という声かけ
可能性を広げるために、「次は、〇〇に挑戦しよう。」という声かけ
励ましの声かけ「忘れ物が5回だったね。来月はもっと減らせるようにがんばろう。」
褒める・認める声かけ「元気なあいさつをしてくれて、みんな気持ちがいいよ。」

常に子供に目をかけ、子供の努力やつまずきに対して声をかけていくことが、学校でも家庭でも大切なことだと思っています。これからも、子供への言葉かけを大切に、保護者の方々とともに、子供の可能性、長所を伸ばしていくことができればと思います。